



# たんぼだより



2016.1.8

12月 収穫したお米でお餅つき そしてワラを使ってしめ飾り作りを行いました



ワラを少しぬらして雑巾で包み、木の棒で叩きます  
こうするとワラが手に馴染みやすく、細工しやすくなります



根元をしっかり押さえてもらい縷(な)っていきます  
親子で協力して作っています



孝順先生は熟練の技！  
1人でスイスイ作り上げています



我が家に年神様を迎えるためのしめ飾り、皆さん真剣です



仕上げに飾りを付けて



完成♡



家の玄関に飾って準備万端



さて、しめ飾りはなぜワラで作るのでしょうか？  
昔はお米がたくさん実る事が人々の願い事でした。だからお米を守ってくれたワラを使ってしめ飾りを作った、と言われています。

しめ飾りの飾りにもいろいろあり、いろいろな意味があります(諸説あり)



ウラジロ  
葉の裏を前にして飾ります  
裏のない潔白な心  
左右対称なので夫婦仲良くの意味も



南天  
難を転じるという語呂あわせから  
赤は魔除けになります



松  
一年中緑色で(枯れない)  
神様が宿る木とされています

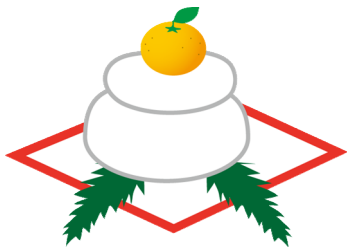
御幣…水の流れや神様の形を表す

橙…代々繁栄するように

ユズリハ…子孫が途絶えないように  
※新しい葉が出てから古い葉が落ちる事から



川元先生作のお飾りも



田植えに始まり、草取り、稲刈り、収穫して頂き…ワラでしめ飾り、と余す所なく使う事が出来ました。

次回の田んぼカフェ 1月23日(土)  
沢山のご参加お待ちしております